

種 別	無形民俗文化財
(ふりがな) 名 称	(みのむらむしおくり) 蓑村虫送り
所 在 地	明和町大字蓑村
所有者(管理 者)	蓑村自治会
<p>【概要】</p> <p>1. 時期及び場所</p> <p>(1) 行われる機会 蓑村自治会の年中行事</p> <p>(2) その日時 7月13日 午後7時頃から (毎年)</p> <p>(3) 行われる場所 とづか会館前から鳥墓神社前まで(約250メートル)</p> <p>2. 内容</p> <p>(1) 行事次第</p> <p>蓑村地区住民が各家庭で事前に作っておいた松明を持って「とづか会館」隣のふれあい広場に集まる。夕暮れ午後7時頃、太鼓、鉦、法螺貝の音を合図に火を付けた松明が次々と列をなす。太鼓を先頭に鉦吊り、法螺貝吹きと続き、その後に松明を持った住民が火先を水田に向けながら鳥墓神社までゆっくりと練り歩く。鳥墓神社の前になると松明は一か所に集めて燃やされる。しばらくの間、太鼓や鉦、法螺貝が打ち鳴らされ、火が燃え尽きると行事は終了する。</p> <p>(2) 道具</p> <p>太鼓 1個(平成5年2月新調)</p> <p>鉦 1個、撥 1本(年代不明)</p> <p>法螺貝2個(年代不明)</p> <p>松明 40～50本</p> <p>(3) 歌詞、唱えことば等(諧調は2種類ある。)</p> <p>①ツー(貝)、ワイ(鉦・太鼓)、ツー(貝)、ワイ(鉦・太鼓) ツー、ツー(貝)、ワイ、ワイ(鉦・太鼓)・・・を繰り返す。</p> <p>②ツー(貝)、ワイ(鉦・太鼓)、ツー(貝)、ワイ(鉦・太鼓) ツー、ツー(貝)・・・を繰り返す。</p> <p>3. 評価</p> <p>本行事は、松明を持って稲作の害虫を駆除し、その年の豊年を祈願する目的で行われ、町の農業文化の基盤的な行為を継承するものである。そして、他地域では途絶える中、町内で唯一残る行事であり、当町の近世以来の民俗文化の特徴を今に継承するため極めて重要な無形民俗文化財と評価できる。</p>	